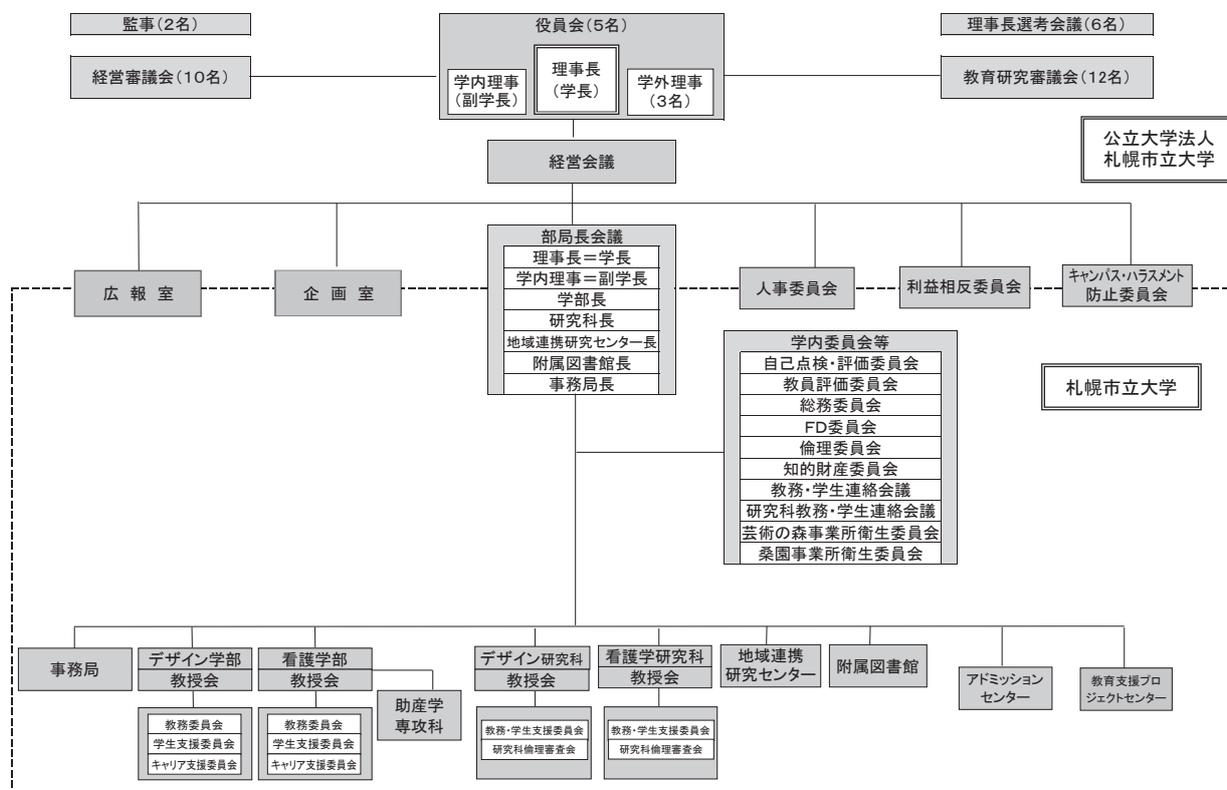




VIII 法人・学内運営の概要

1 2019年度 公立大学法人札幌市立大学 組織図



2 役員会及び審議会の審議状況

回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第1回	公立大学法人札幌市立大学政府調達協定実施規程及び政府調達苦情検討委員会設置規程の制定について	公立大学法人札幌市立大学特任教員に関する規程の改正について	公立大学法人札幌市立大学政府調達協定実施規程及び政府調達苦情検討委員会設置規程の制定について
第2回	(1) 平成30年度決算及び事業報告について (2) 平成30年度計画の実績報告について (3) 高等教育の就学支援新制度に係る機関申請について	(1) 平成30年度計画の実績報告について (2) 高等教育の就学支援新制度に係る機関申請について	(1) 平成30年度決算及び事業報告について (2) 平成30年度計画の実績報告について
第3回	2020年度予算編成方針について	(1) アドミッション・ポリシーの改正について (2) 2021年度以降入学者選抜試験の変更について (3) 看護学研究科博士前期課程の私費外国人留学生特別選抜の出願資格変更について (4) 公立大学法人札幌市立大学名誉教授称号授与について (5) 教員の再任について	(1) 2020年度予算編成方針について (2) アドミッション・ポリシーの改正について (3) 2021年度以降入学者選抜試験の変更について (4) 看護学研究科博士前期課程の私費外国人留学生特別選抜の出願資格変更について



回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第4回	公立大学法人札幌市立大学教職員の給与に関する規程の一部を改正する規程案について	(1) 再入学に関する規則等の改正について (2) 部局長人事について (3) 高等教育の修学支援新制度に係る本学の対応について	公立大学法人札幌市立大学教職員の給与に関する規程の一部を改正する規程案について
第5回	(1) 2020年度計画及び予算について (2) 研究費関連規程の改正について (3) 授業料及び入学料の免除等に関する規程等の改正等について (4) 非常勤職員等に係る規程類の改正について (5) 「情報基盤センター」の設置について	(1) 2020年度計画及び予算について (2) 学則の改正について (3) 研究費関連規程の改正について (4) 授業料及び入学料の免除等に関する規程等の改正等について (5) 教員選考細則の改正について (6) 「情報基盤センター」の設置について	役員の兼業について
第6回			2020年度計画及び予算について

3 役員会及び審議会委員名簿（2019年4月1日現在）

1) 役員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	学長
理事（常勤）	樋之津 淳子	副学長
理事（非常勤）	恩村 裕之	北電興業株式会社 取締役社長
理事（非常勤）	山岸 正美	株式会社マーケティング・コミュニケーション・エルグ 取締役会長
理事（非常勤）	橋本 道政	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
監事（非常勤）	橋場 弘之	田村・橋場法律事務所（札幌市任命）
監事（非常勤）	谷口 雅子	谷口雅子公認会計士事務所（札幌市任命）

2) 経営審議会委員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	
理事	樋之津 淳子	
理事	恩村 裕之	北電興業株式会社 取締役社長
理事	橋本 道政	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
事務局長	小野 聡	
学外委員	酒井 裕司	一般財団法人さっぽろ産業振興財団 専務理事
学外委員	花井 秀勝	フュージョン株式会社 代表取締役会長
学外委員	廣田 恭一	札幌商工会議所 専務理事
学外委員	町野 和夫	北海道大学大学院経済学研究院 教授
学外委員	丸山 知子	学校法人札幌青葉学園北海道看護専門学校 校長



3) 教育研究審議会委員

役職	氏名	現職
学 長	中島 秀之	
理 事	樋之津 淳子	
理 事	山岸 正美	株式会社マーケティング・コミュニケーション・エルグ 取締役会長
デザイン学部長	細谷 多聞	
看護学部長	松浦 和代	
デザイン研究科長	石井 雅博	
附属研究所長	上遠野 敏	
附属図書館長	川村 三希子	
事務局 長	小野 聡	
学 外 委 員	池田 官司	札幌市教育委員会委員
学 外 委 員	石垣 靖子	北海道医療大学 名誉教授
学 外 委 員	上田 順子	公益社団法人北海道看護協会 会長

4 経営会議

2019年度は11回の会議を開催した。

会議では、法人の経営及び札幌市立大学の教育研究に関する重要事項について協議を行った。

5 部局長会議

回数	開催日	議題
第1回	4月5日	(1) 研究倫理審査要領の改正について
第2回	5月8日	(1) アドミッション・ポリシーの見直しについて (2) 学部共通教育科目の見直しについて
第3回	6月11日	(1) 平成30年度決算について (2) 平成30年度計画の実績報告に係る自己点検・評価結果について (3) 高等教育の就学支援新制度に係る機関申請について (4) PNCAとの学术交流協定の調印について (5) 台中科技大学との学术交流協定の調印について (6) 看護学研究科倫理審査会規程改正について
第4回	7月3日	(1) SCUの将来計画（2019/6）理事長として
第5回	7月22日	(1) 平成30事業年度の実績報告に係るヒアリング回答（案）について
第6回	9月4日	(1) 公益財団法人札幌市芸術文化財団との協定書調印について (2) アドミッション・ポリシーの改正について (3) 2021年度以降入学者 デザイン学部入学者選抜試験の変更について (4) デザイン研究科倫理審査会規程の改正について
第7回	10月2日	(1) 2021年度以降入学者 入学者選抜試験の変更について (2) 看護学研究科博士前期課程の私費外国人留学生特別選抜の出願資格変更について
第8回	11月6日	(1) 修学支援新制度に係る入学科の取扱いについて (2) 再入学に関する規則等の改正について (3) 清華大学美術学院との学術協定調印について



回数	開催日	議題
第9回	12月4日	(1) 2020年度入学式及び卒業式・修了式の日程について (2) ポストCOC+事業への参加について
第10回	1月9日	(1) 2021年度以降入学者のデザイン学部・看護学部入学者選抜試験に係る公表内容の変更(大学入学共通テストの記述式問題取扱い)について (2) 学生支援の方針(案)について (3) ポストCOC+事業への不参加について
第11回	1月22日	(1) 札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会への参加について
第12回	2月10日	(1) 教員選考に関する改善策等について (2) 倫理審査要領の改定について
第13回	2月27日	(1) 新型コロナウイルスへの対応について
第14回	3月4日	(1) 2020年度計画について (2) 研究費関連規程の改正について (3) 授業料及び入学料の免除等に関する規程等の改正について (4) 学則の改正について (5) デザイン学部カリキュラムポリシー及びデザイン研究科履修等に関する規則の改正について (6) 非常勤職員等に係る規定類の改正について (7) ハゲタカジャーナル等に係わる年報の削除について

6 企画室

企画室は、全学ポリシーの策定に関すること、教育改革に関することについて企画・立案し、経営会議へ提案する組織である。2019年度については検討事案が発生しなかったことから、会議の開催はなかった。

7 広報室

広報室は、主に広報戦略の推進に関する事項等を所管している。2019年度の会議の開催数は10回であった。

主な活動として、2020年度版大学パンフレットの発行及び2021年度版大学パンフレットの検討・制作のほか、大学公式ウェブサイトの管理・更新を行った。また、北海道新聞への広告掲載や札幌駅前通地下歩行空間北大通交差点広場における大学紹介を目的とした「札幌市立大学展ーデザインと看護でつくる未来ー」の開催等のメディア展開を行った。

8 教授会

1) デザイン学部教授会

デザイン学部教授会は、2019年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他学部の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

2) 看護学部教授会

看護学部教授会は、2019年度に臨時教授会1回を含む13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、進級卒業判定及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広



く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編成、修了判定及びその他専攻科の教育研究に関する事項などについても本教授会において、幅広く審議を行った。

教授会終了後には、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

3) デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、2019年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、デザイン研究科博士後期課程に関する事項について審議するため、博士後期課程会議（研究科教授会代議員会）を10回開催した。

4) 看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、2019年度に臨時教授会3回を含む15回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告も行い、必要に応じて看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

9 地域連携研究センター

運営会議（計12回）の開催に加え、地域・産学連携部門、国際交流部門、まこまないキャンパス班の3セクションに構成員を配置し、公開講座、地域貢献事業、産学連携事業、国際交流活動、知的財産管理、研究活動推進に関する活動、まこまないキャンパスに係わる事業を実施した。主な活動内容は以下のとおりである。

<公開講座>

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象とした16コース39コマの講座を、延べ1,562名が受講した。また、ちえりあとの連携講座として10コマ200名が受講した。さらに、今年度も北海道立総合研究機構との共催講座「知活ゼミナール」を開催。「体験型知活ゼミナール」を74名が受講した。

また、公開講座の体系として設定している大項目「一般市民向け」「専門職向け」、中項目「デザイン分野」「看護分野」「学際分野」、小項目「デザイン学部2コース」「看護学部9領域」「共通教育」における実施状況を把握しながら企画運営を行った。

<地域・産学連携>

地域からの協力要請に対して、教員・学生が教育・研究の成果を地域に還元するため、地域連携活動への協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し産学官金連携のきっかけを探るために、「ものづくりテクノフェア」、「ビジネスEXPO」等の展示会へ出展したほか、SCU産学官金研究交流会の開催や、北海道立総合研究機構への視察交流会を開催し、更なるネットワークづくりを図った。

<国際交流>

国際化に関する基本方針および行動計画に基づき、下記の通り推進した。

「学生の国際化」

本学で主催した日台デザイン合同ワークショップに本学学生7名ならびに教員4名が参加した。このワークショップには台湾の華梵大学、台中科技大学、雲林科技大学の学生に加えて、札幌大谷大学の学生も参加し、有益な交流を図ることができた。また、承德医学院へ看護学研究科院生4名を派遣した他、看護学部生5名を初めて台中科技大学へ派遣した。

台中科技大学とは学生交流協定を調印し、後期に特別聴講生1名を本学に受け入れた。

デザイン学部の学生4名が、アメリカ・ポートランド市にあるPacific Northwest College of Art



(PNCA) を訪問し、ワークショップを行い、その成果として作成した映像を、地下歩行空間にて公表した。

提携校ではないが、アメリカのサヴァナ州立大学の学生11名が本学を視察した。食堂での昼食時や講義見学時に学生交流があり、本学学生にとっても有益であった。

「教職員の国際化」

学術奨励研究において、教員の国際学会・国際展示会への発表あるいは、国際学会誌への投稿を促進する補助制度を実施した。

ラップランド大学とは、共同研究の一環として遠隔システムを活用しつつ、国際ワークショップを実践した。加えて直接フィンランドを訪問し、ラップランド大学関係者と意見交換を行った。

「提携校との交流の活性化」

華梵大学、台中科技大学、承德医学院大学と学生の相互派遣を実施した。

清華大学美術学院とは、学術交流協定を更新し、引き続き、交流を図ることとした。

また、PNCAと学術交流協定を調印した。

台中科技大学とは2018年度の学術交流協定締結に加え、学生交流協定を調印し、特別聴講生を受け入れた。加えて、夏季短期研修への看護学部生の派遣、学長の台中科技大学創立100周年記念式典への学長の参列、台中科技大学学長他9名がAIや高齢者看護に関する意見交換のために来学するなど、活発な交流を行った。

「海外とのネットワーク化」

Pacific Northwest Collage of Art (PNCA) と学術交流協定を調印した他、清華大学美術学院との学術交流協定を更新した。また、台中科技大学とは、学生交流協定を調印した。

<知的財産>

学内の知的財産に係わる管理・運営を行った。「産学連携知的財産アドバイザー派遣プログラム（工業所有権情報・研修館主催）」に採択され、当該事業から派遣される知的財産アドバイザーの支援を受け、特許出願2件、商標登録出願1件、プログラムの著作権登録申請1件を行ったほか、イノベーションジャパンへの知的財産シーズ出展などの活動を行った。また、「北東北ものづくりプロジェクト形成ネットワーク」に参画し、一般財団法人工業所有権協力センター（IPCC）の助成を受け、ネットワーク会議（2回）開催、知的財産研修会（1回）開催、SCU産学官金研究交流会への参加などの活動を行った。

<研究推進>

地域や産業界等から依頼された受託研究6件、共同研究7件、寄附金3件の受入れを行ったほか、前年度に改善した学内競争的研究費（学術奨励研究費・共同研究費・田村ICT基金）制度を実施した。また、両学部の教員の交流を図るため研究交流会を企画・実施した。

10 附属図書館

2019年度は全11回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。主な協議内容は、図書館予算、データベース・電子ジャーナル・購読雑誌の契約検討、機関リポジトリへの修士論文等の登録申請方法、除却等であった。

SCUジャーナル編集ワーキングでは、研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第13巻」を2019年7月に発行した。また、第14巻発行に向けて、投稿論文の査読を行った。4件受理。

この他、芸術の森キャンパスライブラリーでは、札幌芸術の森美術館との連動企画展を開催（1月27日～2月28日）した。



11 アドミッションセンター

アドミッションセンターは、2019年度に10回の会議を開催し、前年度の入試結果の分析、新入試制度への対応の検討、高校訪問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領に関する審議、入学者選抜試験に係る現状分析を行った。

また、学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、大学・大学院等説明会、高校訪問及び中学生向け広報活動等を企画・実施した。

12 キャリア支援センター

キャリア支援センターは、両学部に関係するキャリア支援に係る改善・充実を目的として、2008年4月に設置された。両学部のキャリア支援委員会においては、各学部の特性や特徴及び社会情勢に応じたキャリア支援を行った。

13 教育支援プロジェクトセンター

教育支援プロジェクトセンターは、文部科学省の補助事業や公的機関が実施する事業に関するプロジェクト等を所管しており、「サードレベル部門」「看護コンソーシアム部門」を設け、各部門において活動を行った。

14 学内委員会

1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、主に認証評価や年度計画の進捗管理に関する事項等を所管しており、2019年度は8回開催した。

2019年度の主な活動として、平成30年度計画の実績報告書（案）の作成を行ったほか、2019年度計画に係る半期の取組状況の進捗管理や大学評価（認証評価）結果に係る対応等についての履行状況等の点検を行った。

2) 教員評価委員会

2019年度は3回の委員会のほか、ワーキングや専門部会を開催し、各教員から提出された教員活動実績申告書の確認作業や教員評価書の作成作業を行うとともに、次年度に向けた記入要領及び申告書様式等の検証を行った。

評価結果については、2019年度末に任期満了を迎える教員の再任審査に活用した。

3) 総務委員会

2019年度は12回の委員会を開催した。

委員会では、基幹ネットワークシステムの更新、学生を対象とした安否確認訓練、札幌市立病院との合同災害訓練等の検討を行い実施した。

また、昨年を引き続き、学内の防災訓練、夏季及び冬季の節電対策についても実施した。

4) FD委員会

FD委員会は、2019年度に12回開催し、教員の資質向上、FDに関する情報の共有化・情報収集のため、他部署からの企画も含め学内研修会の開催及び学外研修会への教員派遣等を行ったほか、授業評価アンケートの集計結果に対する教員所見のとりまとめを行った。



5) 倫理委員会

倫理委員会では、申請された研究計画の倫理的配慮が充分であるか否かについて、人権擁護の観点に基づき審査を行っている。

2019年度は、原則、毎月第4水曜日に委員会を開催した（計11回開催）。

2012年度から始めた審査方法として、審査資料の事前確認を行い、申請者へ委員のコメントを送付し、最終版の申請書及び資料の提出を委員会開催までに求めている。この審査方法の採用により、審査時間の短縮化、審査申請から研究開始までの迅速化を図っていたが、2019年度は更に迅速審査を含めて効率化ならびに迅速化を図るための審査方法について検討した。2020年度から新様式、新審査フローを導入する。

年間の審査申請総数は47件であったが7件の申請取下げならびに差戻しがあり、最終的に承認したのは40件であり、1回当たり平均3.6件の審査を実施した。

審査結果は2018年度の検討の結果を受けて、2019年4月より「承認」、「条件付承認」、「再提出」、「不承認」「非該当」のいずれかで判定した。

審査の社会的透明性及び客観性を担保すると同時に、申請者や委員に係るリスク管理の保全のため、2011年度から継続して弁護士1名に外部委員として委嘱し、委員会を組織している。

2014年12月告示の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）に基づき、2015年度から人を対象に介入・侵襲を伴う医学系研究の倫理審査を扱う特別審査部門を設置した。この指針において、倫理審査委員会の成立要件として、構成員は「倫理審査委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること」とされていることから、この特別審査部門の外部委員として、前述の弁護士に加え、医師1名を追加で委嘱した（2019年度は、特別審査部門の開催は0回）。

6) 利益相反委員会

利益相反委員会は、産学官連携活動において大学と教職員等が利益相反の疑いを持たれることを防ぎ、大学の社会的信頼の維持を目的として、2016年度に設置された。

2019年度は該当する案件がなかったことから委員会は開催しなかった。

7) 教務・学生連絡会議

教務・学生連絡会議は、2019年度に10回開催し、共通教育、デザイン・看護両学部の連携教育に関する事項及び学生生活、課外活動支援に関する事項等について審議した。

具体的には、学事暦、時間割、シラバス、定期試験及び授業評価アンケートに関すること、また、奨学金、大学祭、チューター制度に関すること等について審議した。また、両学部の教務委員会及び学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を報告し、両学部の情報を共有した。

8) 研究科教務・学生連絡会議

研究科教務・学生連絡会議は、2019年度に6回開催し、デザイン・看護学両研究科の連携教育に関する事項、研究科連携科目に関する事項及び学生生活に関する事項等について審議した。



15 構成員名簿

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	経営会議	◎中島 秀之 樋之津 淳子 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学研究科長 事務局長
	部局長会議	◎中島 秀之 樋之津 淳子 細谷 多聞 松浦 和代 石井 雅博 上遠野 敏 川村 三希子 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 地域連携研究センター長 附属図書館長 事務局長
	企画室	樋之津 淳子 細谷 多聞 松浦 和代 石井 雅博 小野 聡	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 事務局長
	広報室	細谷 多聞 小田 和美 安齋 利典 本田 光 石田 勝也 福田 大年 原井 美佳 森川 由紀 ◎小野 聡	デザイン学部長 看護学部教授 デザイン学部教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局長
	人事委員会	◎中島 秀之 樋之津 淳子 細谷 多聞 松浦 和代 石井 雅博 小野 聡	学長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 事務局長
	キャンパス・ハラスメント防 止委員会	◎中島 秀之 樋之津 淳子 細谷 多聞 松浦 和代 石井 雅博 小野 聡	学長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 事務局長
	地域連携研究センター	◎上遠野 敏 菊地 ひろみ 武田 亘明 張 浦華 丸山 洋平 大野 夏代	地域連携研究センター長 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授



区分	委員会等	委員・構成員		
		教職員名	所属・職位等	
	地域連携研究センター	貝谷 敏子 三上 智子 金 秀敬 武富 貴久子 山本 真由美 田島 悠史 金子 晋也 柏倉 大作 阿部 大 上田 理子	看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 デザイン学部助教 デザイン学部助教 看護学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 事務局地域連携課長	
	図書館	◎川村 三希子 若林 尚樹 松井 美穂 森 朋子 松永 康佑 伊東 健太郎 黒田 紀子 檜山 明子 上田 理子	附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局地域連携課長	
	教育支援プロジェクトセンター	◎樋之津 淳子 猪股 千代子 阿部 大	副学長 兼 看護学研究科長 看護学部教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長	
	アドミッションセンター	◎細谷 多聞 松浦 和代 羽深 久夫 守村 洋 渡邊 由加利 大淵 一博 小宮 加容子 須之内 元洋 櫻井 繭子 矢野 祐美子 阿部 大 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン学部長 看護学部長 デザイン学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 事務局学生課長 事務局桑園担当課長	
学内委員会	常置委員会	自己点検・評価委員会	樋之津 淳子 細谷 多聞 ◎松浦 和代 石井 雅博 川村 三希子 柿山 浩一郎 阿部 大	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 附属図書館長 デザイン学部教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学内委員会	常置委員会	教員評価委員会	◎樋之津 淳子 細谷 多聞 松浦 和代 石井 雅博 齊藤 雅也 定廣 和香子 小野 聡 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局長
		総務委員会	若林 尚樹 定廣 和香子 山田 信博 大淵 一博 工藤 京子 山本 真由美 ◎小野 聡 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局長
		FD委員会	上遠野 敏 ◎猪股 千代子 三谷 篤史 石田 勝也 櫻井 繭子 牧田 靖子 福原 啓祐 布廣 成規 地域連携研究センター長 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部助教 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
		倫理委員会	◎川村 三希子 荒木 奈緒 矢部 和夫 山田 信博 村松 真澄 松永 康佑 上田 理子 附属図書館長 助産学専攻科長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 看事務局地域連携課長
		利益相反委員会	◎中島 秀之 樋之津 淳子 小野 聡 理事長 副学長 兼 看護学研究科長 事務局長
		知的財産委員会	◎上遠野 敏 菊地 ひろみ 武田 亘明 貝谷 敏子 阿部 大 上田 理子 地域連携研究センター長 看護学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 事務局地域連携課長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
連絡調整会議	学部間 教務・学生連絡会議	細谷 多聞 ◎松浦 和代 羽深 久夫 町田 佳世子 矢部 和夫 小田 和美 喜多 歳子 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン学部長 看護学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	研究科間 研究科教務・学生連絡会議	樋之津 淳子 ◎石井 雅博 齊藤 雅也 猪股 千代子 福原 啓祐 布廣 成規	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
衛生委員会	芸術の森事業所衛生委員会	金 秀敬 ◎阿部 大 安藤 貴之 廣瀬 瑞絵	デザイン学部講師 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 事務局総務課庶務係員 保健室保健管理員
	桑園事業所衛生委員会	近藤 圭子 田仲 里江 ◎阿部 大 佐々木 亜矢子	看護学部助教 看護学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 桑園事務室学生支援係員
学部委員会	デザイン学部 教務委員会	◎矢部 和夫 柿山 浩一郎 山田 良 藤木 淳 丸山 洋平 石田 勝也 片山 めぐみ	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師
	デザイン学部 学生支援委員会	◎羽深 久夫 若林 尚樹 張 浦華 松井 美穂 森 朋子 大島 卓 金 秀敬	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師
	デザイン学部 キャリア支援委員会	◎安齋 利典 椎野 亜紀夫 三谷 篤史 須之内 元洋 福田 大年 金子 晋也 矢久保 空遥	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部助教 デザイン学部助教



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学部委員会	看護学部	教務委員会	荒木 奈緒 ◎喜多 歳子 卯野木 健 貝谷 敏子 伊東 健太郎 工藤 京子 黒田 紀子 高橋 奈美 武富 貴久子 檜山 明子 矢野 祐美子 牧田 靖子 鬼塚 美玲 渋谷 友紀 大友 舞 助産学専攻科長 看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手
		学生支援委員会	◎小田 和美 大野 夏代 藤井 瑞恵 本田 光 三上 智子 守村 洋 森川 由紀 田仲 里江 御厩 美登里 中田 亜由美 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手
		キャリア支援委員会	◎菊地 ひろみ 神島 滋子 菅原 美樹 原井 美佳 石引 かずみ 柏倉 大作 近藤 圭子 高橋 葉子 野呂田 美菜子 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手 看護学部助手
研究科委員会	デザイン研究科	教務・学生支援委員会	◎齊藤 雅也 安齋 利典 町田 佳世子 椎野 亜紀夫 藤木 淳 片山 めぐみ 金 秀敬 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師
		研究科倫理審査会	◎矢部 和夫 三谷 篤史 山田 信博 阿部 大 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長



区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
研究科委員会	看護学研究科	教務・学生支援委員会	◎猪股 千代子 神島 滋子 菅原 美樹 渡邊 由加利 高橋 奈美	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師
		研究科倫理審査会	◎卯野木 健 藤井 瑞恵 村松 真澄 阿部 大	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長

◎印：所管部局長等



16 FD・SD活動

FD活動 年間活動概要（学内研修会）

（単位：名）

全学FD	研修会名	場所	参加者数
8月27日	2019札幌市立大学研究交流会		75
9月17日	情報セキュリティ対策について		101
9月18日	現代の学生理解		69
9月26日	“倫理的”に研究を遂行するとは～具体的な研究例から考えてみよう～		53
1月15日	粗悪学術誌 ハゲタカジャーナルについて		79

（単位：名）

デザイン学部・ 研究科FD	研修会名	場所	参加者数
6月19日	授業評価アンケート分析よりみた授業改善方策の検討		33
10月16日	デザイン総合実習Ⅲの教育内容		37
11月20日	2018年度サバティカル研修の成果報告		28
1月22日	『学習評価の基本』での研修内容の全体共有		34
2月20日	アクティブラーニング授業のための学習評価		9

（単位：名）

看護学部・ 研究科FD	研修会名	場所	参加者数
10月16日	2019年度国際交流事業の成果報告と課題		34
10月21日	効率的に研究を進めるために－便利なソフトの活用方法		30
12月29日	2018年度サバティカル研修の実施報告		30
2月13日	アクティブ・ラーニンググループ学習を効果的に導入する－		30
2月19日	看護学教育ワークショップ報告		41



SD活動 年間活動概要

(単位：名)

SD	研修名	形態	受講者数
4月18日	障害者差別解消法に関する研修 (e-learning)	札幌市立大学	19
6月18日	ハラスメント防止研修	学外	1
6月21日	説明力UPセミナー	学外	1
6月26日	ビジネスで役立つ問題解決講座	学外	1
6月26日	契約事務研修	学外	1
7月2日	ハラスメント防止研修会	学外	3
7月4日	タイムマネジメント研修	学外	2
7月9日	伝わるビジネス文書・使える報連相	学外	1
7月9日	第9回C-Learningセミナー「教学部門のための業務改善」	学外	1
7月10日	中堅社員研修	学外	1
7月17日	メンター研修	学外	1
7月17日	公立大学職員セミナー	学外	1
7月23日	プレゼンテーション研修	学外	1
8月8日	リーダー・管理職に求められるマネジメントスキル研修	学外	1
8月9日	評価者研修	学外	1
8月23日	第1回教務事務セミナー	学外	2
8月26日	職務分析・職務評価セミナー	学外	1
9月17日	情報セキュリティ対策について	札幌市立大学	101
9月26日	生産性とモチベーションを上げる「働き方改革」講座	学外	1
9月26日	“倫理的”に研究を遂行するとは～具体的な研究例から考えてみよう～	札幌市立大学	53
10月3日	大学等CSIRT研修 (応用編)	学外	1
10月28日	待ったなし！パート・有期雇用・派遣労働者の同一労働同一賃金	学外	3
10月29日	会計年度任用職員制度説明会	学外	2
11月13日	職場のハラスメント対策セミナー	学外	1
12月6日	新人・若手育成セミナー イマドキ世代に“きく”育て方とは	学外	1
12月9日	管理職向け 職場のリスクマネジメント力向上セミナー	学外	1
12月9日	第2回教務事務セミナー	学外	2
1月14日	障害者差別解消法を学ぶ！	札幌市	1
2月4日	SD研修報告会	札幌市立大学	7
2月10日	新型コロナウイルスに係る対応について	札幌市立大学	13
2月13日	「令和2年分」の年末調整が大幅変更！～基礎控除・給与所得控除の改正ポイントと、年末調整業務を大幅削減できるクラウド活用術	学外	1
2月13日	残業抑制・生産性向上・労基法対策を叶える今すぐ真似したい勤怠管理システムの賢い使い方	学外	1
3月6日	労働者派遣法説明会	学外	1